

# コンビペデスタル1-40 取扱説明書



**お問い合わせ先：**

**ヴァイテックビデオコム株式会社**

〒105-0011 東京都 港区 芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル 1階

電話：03-5777-8040 FAX：03-5777-8041

**大阪オフィス**

〒531-0072 大阪市 北区 豊崎 5-2-13

電話：06-6359-2440 FAX：06-6359-2441

[www.vitecvideocom.jp](http://www.vitecvideocom.jp)



※ 本取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更になる場合がございます。

Rev.2.0 更新:2017年 6月

## 9 アクセサリー

### FBコンバーター(製品コード: 3913)



ビデオ18プラス～S 1、ビデオ20プラス～S 1をコンビペデスタル1-40上に搭載するための、フラットベースコンバーター

### クイックフィックス(製品コード: 3910)



マルチディスクと併用し、ビデオ25プラスFBをコンビペデスタル1-40に取り付けるためのコネクタ

### マルチディスク(製品コード: 3914)



ビデオ15SBをコンビペデスタル1-40に搭載するためのマルチディスク

### カバー EFP2(製品コード: 9315)



## 1 はじめに

このたびはザハトラー コンビペデスタル1-40をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用になる前に、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また本書は必要なきにいつでも読めるよう、大切に保管してください。

## 2 使用用途

本製品はテレビスタジオおよびロケ現場で、フルードヘッドおよびカメラを移動・昇降させるために開発されたペデスタルです。上記の目的以外で本製品を使用しないでください。

コンビペデスタル1-40の最大耐荷重量は40kgです。それ以上のものは搭載しないでください。本製品のメンテナンスおよびサービスには、必ずザハトラー製のパーツを使用してください。

## 3 安全に使用するために

本取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をご理解のうえ、以下の事項を必ずお守りください。

**警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

**注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

**警告**

空気を入れたペDESTALは運搬ロックを解除したとたんに急上昇するため、運搬ロック解除時はペDESTALに寄りかからないようにしてください。

**警告**

カルダンもしくは操作ホイールを持って、コラムを運搬しないでください。

**注意**

空気コラムには、9.6bar以上の気圧をかけないでください。

**警告**

コラムがドリーに正しく固定されていることが確認できるまでは、ペDESTALを使用しないでください。

**注意**

ペDESTALの空気圧を3.5bar以下まで減圧すると、空気漏れが起きる恐れがあります。

**警告**

本製品のメンテナンスは、ザハトラーのサポートサービス・スタッフに依頼してください。

**警告**

ペDESTALには常に綺麗で乾燥した空気もしくは窒素のみを入れ、それ以外のものを決して入れないでください。

## 7 保証

本製品が不適切にあるいはテクニカルデータに記載された内容にそぐわない使い方をされた場合には、保証の対象とはなりません。

## 8 テクニカルデータ

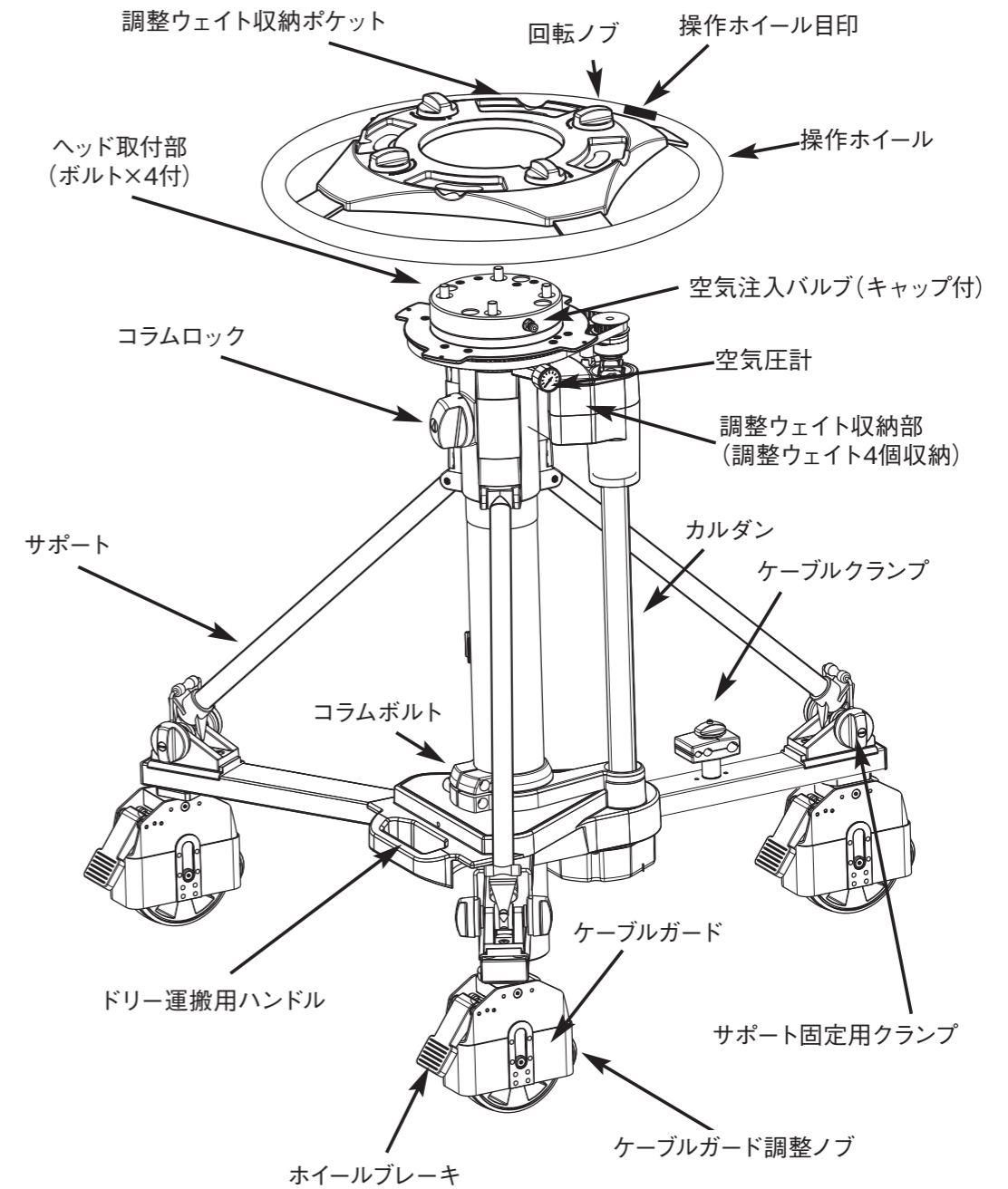
製品コード:	5199
最大耐荷重量:	40kg
最小高:	79cm
最大高:	133cm
昇降幅:	54cm
ホイール直径:	125mm
ドリー重量:	9kg
コラム重量:	12kg
ペDESTAL重量:	24.6kg
進入幅:	80.6cm
移動間隔:	70cm
操作ホイール直径:	50cm
最大加圧量:	9.6bar
セーフティバルブ作動空気圧:	10bar
使用温度範囲:	-20°C ~ +60°C

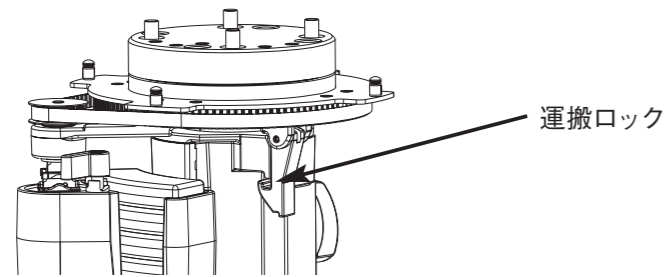
## 6 お手入れおよびメンテナンス

本製品をできるだけ長く使用するために、以下のことに注意してください。

- スタジオで使用している場合は、ペデスタルを定期的清潔で乾いた布等で拭いてください。保管中に溜まったほこり等は柔らかめのブラシで取り除くとよいでしょう。
- 屋外で使用している場合は、コラム内に水が入らないように気をつけてください。砂やほこりは、柔らかめのブラシで取り除いてください。海水等による塩分が付着した場合は、できるだけ早く清潔な水で洗い流してください。
- オイルやグリスはコラムのいかなる箇所にも塗らないでください。オイルベースのクリーナーや、研磨剤、ワイヤーブラシ等は、製品の表面を破損する恐れがありますので、決して使用しないでください。

## 4 各部名称





コンビペDESTAL1-40は、コラム、操作ホイールおよびドリーから構成されます。各ユニットは運搬用に簡単に分離することができます。  
 コラムへの空気注入には、付属のポンプを使用します。  
 最大耐荷重量は40kg、昇降幅は54cmです。  
 コンビペDESTAL1-40は3輪操舵が可能です。ホイールは直径125mmで、ホイールブレーキおよびケーブルガードが装備されています。

## 5 ペDESTALの組み立て

### 5.1 ドリーの展開

底部のボタンを押しながらアームを開き、ロックされる位置まで完全に開いてください。  
 ドリーを地面に置き、ホイールブレーキを掛けます。

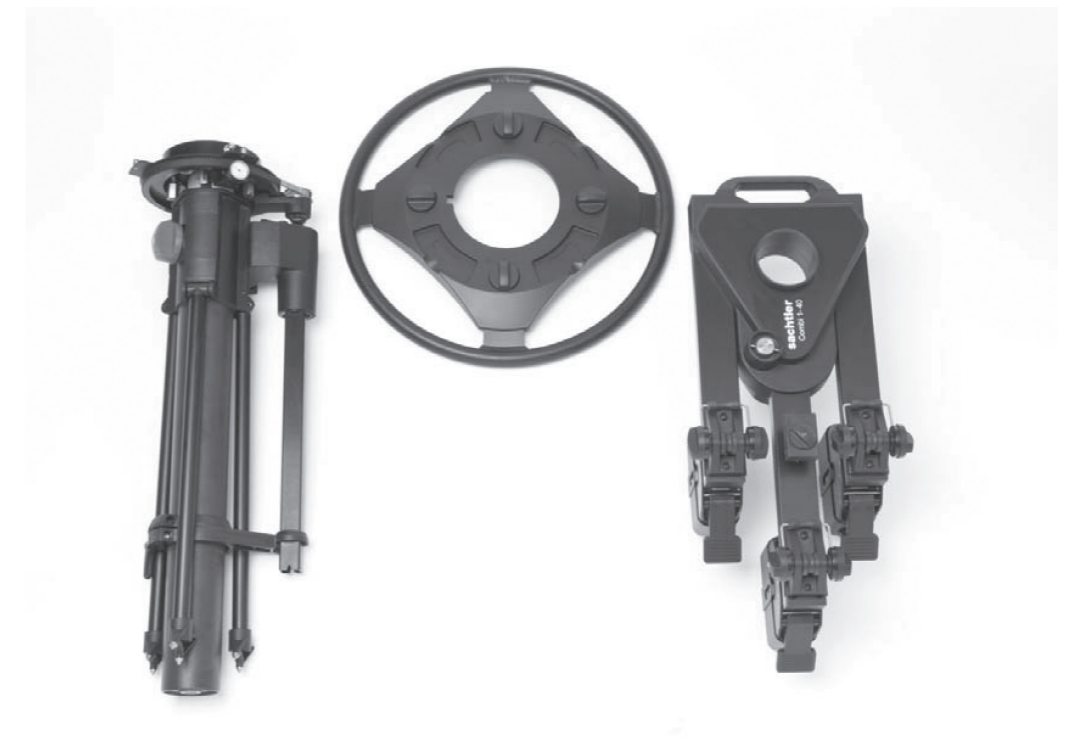
### 5.2 コラムのドリーへの接続

サポート固定用クランプを外側に回し、カムを緩めてください。  
 コラムを押さえ、ペDESTALの3本のサポートを広げます。  
 コラムを垂直に下げ、ドリー中央の穴に差し込んでください。  
 サポートの石突をドリー先端のくぼみにセットします。  
 サポート固定用クランプを内側に回し、カムで石突をロックし、ドリーへしっかりと固定します。  
 (他の器具等を使用せず) 手の力だけで、コラムボルトをしっかりと締めてください。

## 5.7 運搬

本製品は容易な運搬ができるよう各ユニットを分離することが可能です。

- ブレーキを掛けます
- コラムを下げ、運搬ロックを掛けてください。
- 調整ウェイトを調整ウェイト収納部へ納め、ロックレバーを掛けます。
- 回転ノブを反時計回りにまわしてロックを解除し、操作ホイールを取り外します。
- コラムボルトを解除してください。
- サポート固定用クランプを回し、ロックを緩めてください。
- コラムを持ち上げ、ドリーから取り外します。





## 5.6 実際の操作

### 高さの調整

コラムの昇降幅は54cmあります。搭載機材は操作ホイールを昇降させることで、完全にバランスが取れた状態で上下に移動させることができます。コラムの動きは、コラム上部に備えられたコラムロックをセットすることで、任意の粘りに調整することが可能です。粘りを強くする場合は、コラムロックノブを時計回りに、粘りを弱くする場合は、ノブを反時計回りにまわしてください。

高さを固定して操作する場合は、コラムロックノブを時計回りいっぱいに戻すと、任意の高さでコラムの動きを固定することができます。

### ブレーキ

ドリーの各ホイールにはホイールブレーキが装備されています。ホール上のレバーを押下げるとブレーキが掛かります。同様にレバーを押上げると、ブレーキが解除されます。

### ケーブルガード

ケーブルガードの高さは、クランプノブを回し、任意の高さに移動させ調整してください。

### ケーブルクランプ

ドリーのアームには、カメラのケーブルを束ねておくためのケーブルクランプが備わっています。

### 三輪操舵

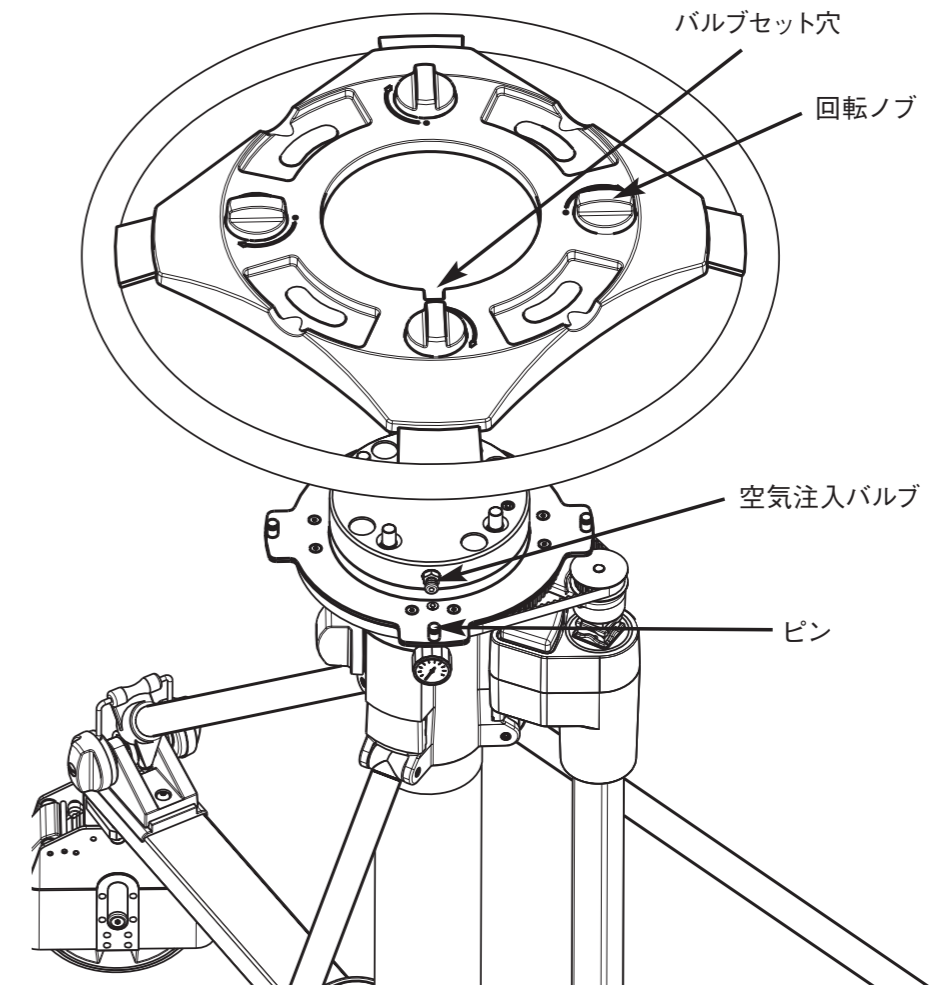
コンビペデスタル1-40は三輪操舵（操作ホイールを回すと3つのホイールすべてが動くこと）が可能です。

操作ホイールの進行方向は、操作ホイール上の目印の位置で確認できます。

### 調整ウェイト

コンビペデスタル1-40には、撮影中の温度変化に、コラム内の空気圧を調整することなく対応することができるよう調整ウェイトが4個備えられています。

## 5.3 操作ホイールのペデスタルへの取り付け




操作ホイールをコラム上に取り付けます。ホイールにはバルブが収まる位置に切れ込みが入っています。バルブとピンが一直線上に揃うようセットすることで、操作ホイールをコラム上の正しい位置に取り付けられます。操作ホイール上部の回転ノブを時計方向に回し、固定してください。このとき、各ノブがしっかりと締まっているのを確認してください。

操作ホイールを回すと、カルダンに噛み込みます。

## 5.4 フルーイドヘッドのペDESTALへの搭載

本製品にはヘッド搭載用プレート（ボルト×4付）が標準で付属し、ザハトラービデオ25プラスFBが直接搭載可能です。ビデオ18S1もしくはビデオ20S1等その他のヘッドを搭載するには、FBコンバーターが別途必要です（P.15『アクセサリ』参照）。

 **警告** ペDESTALに何も搭載されていない状態で、空気圧が3.5barを超えている場合は、運搬ロックを解除しないでください。また空気圧を入れた状態のペDESTALに寄りかからないでください。

操作ホイールを押し下げ、運搬ロックを外してください。操作ホイールを手で制御しながら、コラムを昇降させることができます。

コラムロックを掛けてください。

フルーイドヘッドを搭載します。ヘッド底面のボルト穴には、ヘッド搭載プレートの底側から挿入することができます。


フルーイドヘッドを搭載した後は、必ずボルトをしっかりと締め込んでください。

カメラおよびアクセサリを取り付ける際は、コラムロックを解除し、運搬ロックを掛け行うようにしてください。（一度バランスを取った後に機材を搭載すると、ペDESTALのバランスが崩れ、ロックを解除した際にコラムが沈む可能性があります。）


ウェイト収納部のロックレバーを反時計回りに半回転させ、ウェイト収納部を回し、ウェイトを2つ取り出してください。操作ホイール上の収納ポケットに取り出したウェイトをセットします。ロックレバーは元の位置に戻してください。

## 5.5 ペDESTALへの空気の注入

運搬ロックを外してください。


 **警告** 過剰に空気を入れすぎると、運搬ロックを外したとたんに、コラムが急上昇する恐れがあります。運搬ロックを外した状態のペDESTALには、寄りかからないでください。

コンビペDESTAL1-40への空気注入は、付属の空気入れを使用してください。

 **警告** コラム内に過剰に圧力が掛かるのを防ぐため、ペDESTALにはセーフティバルブが備わっています。このセーフティバルブを使用して空気圧調整を行わないようにしてください。

正しく空気を注入されたペDESTALは、搭載機材の重量に対しバランスが取れ、撮影中わずかな力でコラムを昇降させることができ、操作ホイールを放すとその位置でコラムは留まります。

ペDESTAL内に空気圧が必要以上に掛かっている場合は、空気注入バルブのセンターピンを、バルブキャップの裏側で押し下げ、荷重量に対し適切にバランスが取れるまで空気を抜いてください。

 **注意** コラム内の空気圧が3.5barを下回ると、空気漏れが発生する恐れがあります。

バルブキャップを元に戻し、しっかりと締めてください。

コラム内の空気圧は、コラムに設けてある空気圧計で確認できます。